*2nd circulation

第１回 圧入工学に関する国際会議 2018

1st ICPE 2018, Kochi

日程 ： 平成 30 年 9/19(水)～21(金)

場所 ： 高知県 香美市

主催

国際圧入学会(International Press-in Association)

助成

公益信託　土木学会学術交流基金

後援

アジア土木学協会連合協議会
国際地盤工学会
一般社団法人　日本建設機械施工協会
公益社団法人　地盤工学会
一般社団法人　全国圧入協会
公益社団法人　土木学会
一般社団法人　鋼管杭･鋼矢板技術協会
高知県
高知工科大学
高知工業高等専門学校
株式会社　高知銀行
四国旅客鉄道　株式会社
西日本高速道路　株式会社　四国支社
株式会社　四国銀行
株式会社　技研製作所

概要

防災･減災および質の高いインフラ整備には、計画･調査･設計を支援する細分化された学術分野のみならず、構造物建設を実行する建設機械の開発、施工過程の高精度化･省力化、施工を支える技術･技能者の育成を総合的に支援する連携した学術分野の育成が必須である。

この国際会議では、これら一連の建設活動を、高知県発祥の圧入技術を基礎とした建設機械･施工技術を核として、総合的に連携する学術分野「圧入工学」の確立を目指している。

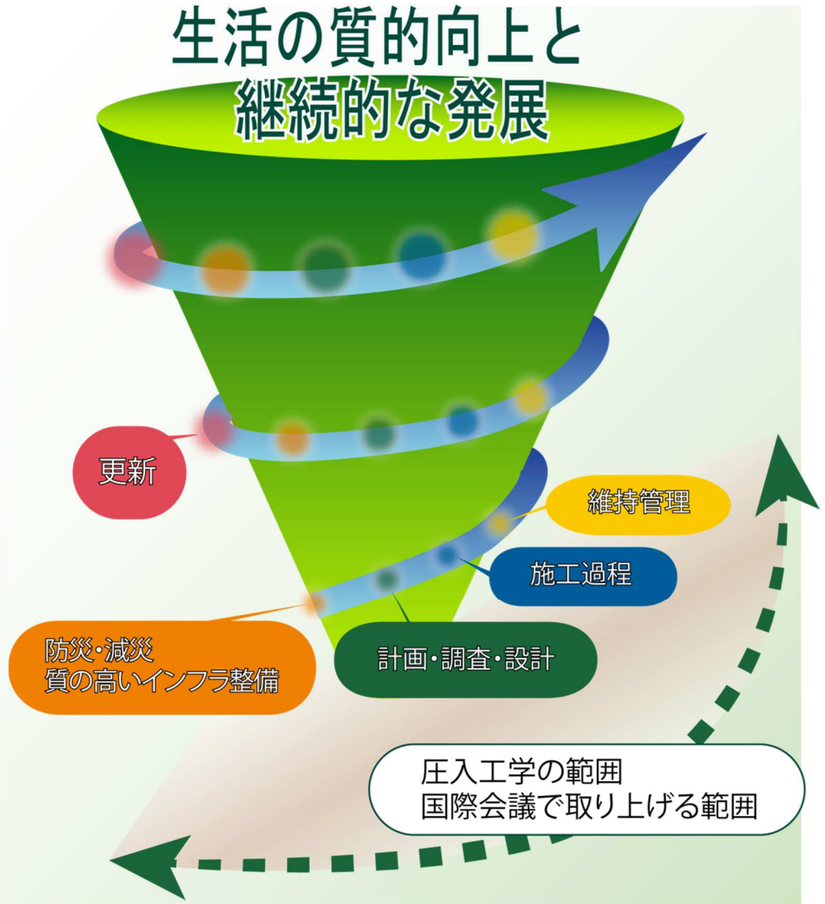
現在、先進国では高度に発展した都市インフラの維持管理と更新、想定外の自然災害に対する危険性の増加といった課題を抱え、アジアを中心とした発展途上国では、都市化に伴う基礎的インフラの急速な拡大への対応といった課題を抱えている。

この国際会議を通じて、世界的に利用が拡大している圧入技術等の施工過程の現状を総括するとともに、適用事例を収集することによって、インフラ整備における国際的な課題解決への道筋を探る。併せて、学術的な研究者と建設業に従事する技術･技能者の対話を通じ、技術開発の継続かつ循環的な発展を期待している。

それらにより日本の土木技術の国際的展開を図るとともに、建設技術者･技能者領域の拡大を目指す。これらの活動成果は、わが国が推進するi-constructionの進展に必須の建設機械、施工技術の役割の重要性を確認するものとなる。

趣旨

インフラ整備における国際的な課題を解決するため、各分野の専門家たちが垣根を越えて横断的に取り組む、圧入技術を機軸とした研究分野「圧入工学」の普及促進を目指し、国際会議を開催する。具体的には、沿岸域や山間部等における災害対策工法としての防災技術の適用事例や建設機械における ICT、IOT 利用の現状紹介、そして研究者と技術･技能者の意見交換の場を提供する。



テーマ

1. 沿岸域や山間部等における圧入工法等を用いた擁壁や基礎による防災対策(津波対策,浸食対策,斜面,その他)
2. 擁壁や基礎など圧入工法等に関連したインフラ整備(道路,鉄道,近接施工,地下建設,農村地域開発,その他)の改修や開発
3. 擁壁、基礎など圧入工法等に関連したより良い生産性(自動化/その他)のための建設機械や装置
4. 擁壁や基礎など圧入工法等による工法評価或いはケーススタディー

＊論文は、学術的な課題(基礎研究)または実用的な課題(施工例や機械開発等)いずれも対象となります。

論文投稿期日

論文投稿案内	**平成 29 年 4 月 30 日**
論文概要の提出	**平成 29 年 10 月 15 日**

約 400 字, フォーマットは下記 URL からダウンロード, メールにて
徳島大学 上野勝利准教授宛に送信 (icpe2018@gmail.com)
*フォーマット: http://www.press-in.org/events/icpe01/outline/ja

論文採択の通知	**平成 29 年 11 月 15 日**
論文(原稿)の提出	**平成 30 年 3 月 15 日**
最終原稿の提出	**平成 30 年 6 月 30 日**

委員会

◇国際諮問委員会

Malcolm Bolton
/ Emeritus Professor, The University of Cambridge
Neil Taylor
/ Secretary General, International Society for Soil Mechanics and Geotechnical Engineering
Peter Cali
/ Managing Director, Sea Level Engineering, LLC
Leung Chun Fai
/ Professor, The National University of Singapore
Kenichi Soga
/ Chancellor's Professor, The University of California, Barkley
Limin Zhang
/ Professor, The Hong Kong University of Science and Technology

尾﨑 正直　高知県, 知事
磯部 雅彦　高知工科大学, 学長
浜中 俊一　高知工業高等専門学校, 校長
建山 和由　立命館大学, 教授
岡原 美知夫　一般社団法人 鋼管杭･鋼矢板技術協会, 代表理事
渡辺 和弘　一般社団法人 日本建設機械施工協会, 理事
堀越 研一　アジア土木学協会連合協議会, 事務総長
北村 精男　株式会社 技研製作所, 代表取締役社長

◇組織委員会

委員長:日下部 治　国際圧入学会, 会長
幹事長:安岡 博之　技研製作所, 執行役員
委　員:上野 勝利　徳島大学大学院, 准教授
岡林 宏二郎　高知工業高等専門学校, 教授
大内 雅博　高知工科大学, 教授
福田 敬大　高知県土木部, 部長
濱田 耕二　株式会社 技研製作所, 室長
高瀬 直輝　四国旅客鉄道 株式会社, 部長
井ヶ瀬 良則　西日本高速道路 株式会社 四国支社, 建設事業部長

◇学術部会

部会長:　上野 勝利　前掲
副部会長:岡林 宏二郎　前掲
委員:　大内 雅博　前掲
石原 行博　株式会社 技研製作所, 課長

◇総務･行事部会

部会長:　濱田 耕二　前掲
副部会長:汲田 信幸　高知県土木部, 土木企画監
委員:　新居 準也　四国旅客鉄道 株式会社, 保線課長
石村 典久　西日本高速道路 株式会社 四国支社, 技術計画課長
明坂 宣行　株式会社 第一コンサルタンツ, 参与

プログラム

◇平成 30 年 9 月 19(水)

午前:
･開催挨拶
･特別講演 1
テーマ「2011 年の東北での地震・津波による被害と、将来における低減策」
講師:今村 文彦/東北大学 教授, 災害科学国際研究所 所長
･特別講演 2
テーマ「建設機械への ICT の導入と建設技術の進展」
講師 : 嶋田 健二郎/株式会社 小松製作所, グループチーム長

午後:
･セッション 1 (施工事例)
･セッション 2 (研究成果)
･現況報告 1
テーマ「圧入される杭/矢板の貫入過程と性能」
発表者 : スチュワート･ヘイグ/ケンブリッジ大学, 上級講師
石原 行博/株式会社 技研製作所, 課長

夜:歓迎レセプション

◇平成 30 年 9 月 20 日(木)

午前:
･現況報告 2
テーマ「サイレントパイラーの発明と開発」
発表者 : 北村 精男/株式会社 技研製作所, 代表取締役社長
･セッション 3 (意見交換･討議)
(機械工学/地盤工学研究者, 建設業の研究者/技術者/技能者)
*本セッションに関しては日本語対応。
･セッション 4 (建設工法の評価方法)
･閉会

午後:
･現場見学会

夜:懇親会

◇平成 30 年 9 月 21 日(金)

午前:
･IPA 研究委員会開催

出版

･査読付き論文集発刊

参加費用

		早割 2018/5/31 まで	正規料金 2018/6/1 以降
IPA 会員	正会員(個人)	8,000 円	10,000 円
	正会員(個人) : 若手技術者 (35 歳以下)	5,000 円	
	学生会員	2,000 円	
IPA 非会員	一般参加者	12,000 円	15,000 円
	一般参加者 : 若手技術者 (35 歳以下)	7,500 円	
	学　生	3,000 円	

備考:上記費用には現場見学会に関する費用を含みます。また懇親会(9 月 20 日予定)に関する費用は開催場所とあわせて詳細が確定次第、別途発表致します。

言語　英語

会場　高知工科大学、香美(かみ)キャンパス

〒782-0003 高知県香美市土佐山田町宮ノ口 185

交通のご案内

＜高知へ航空機利用の場合＞

①東京から　羽田空港～高知龍馬空港 約 1 時間 15 分
②名古屋から 名古屋(小牧)空港～高知龍馬空港 約 60 分
③大阪から　大阪(伊丹)空港～高知龍馬空港 約 60 分
④福岡から　福岡空港～高知龍馬空港 約 65 分
＜高知龍馬空港から会場＞ 車/タクシーで約 20 分

お問合せ

ICPE 組織委員会
E-mail: icpe2018@gmail.com
TEL: **+81(0)3 5461 1191**